

参院選

稲村・吉川 両氏が当選

七月三日に投票が行われた、参議院議員通常選挙の結果をお知らせします。

- 新潟県選出議員選挙
- 当選 稲村 稔夫 (社会党)
- 五九九、一六九票
- 吉川 芳男 (自民前)
- 四四三、六〇〇票
- 村田 一男 (共産新)

六七、五九二票
水野 孝吉 (諸派新)
一一、一五〇票

- 各候補の村内での得票数
- 吉川 芳男 一、二七八票
- 稲村 稔夫 五二六票
- 村田 一男 一九九票
- 水野 孝吉 二二票
- (投票率七八・五八%)

- 比例代表選出議員選挙村内得票数
 - 自由民主党 一、一三二票
 - 日本社会党 四六〇票
 - 公明党 九二票
 - 民社党 二二票
 - スポーツ平和党 二〇票
 - 第二院クラブ 二二票
 - 日本共産党 二二票
- ※このほか得票数の少ないものは、省略させていただきます。



基本健康診査 事後指導会のお知らせ

六月から七月にかけて行われた基本健康診査の、結果説明会が行われます。健康づくりの第一は、自分の健康状態を正しく理解することです。そして、より健康な生活を送るためにはどうしたらよいかを、一緒に考えましょう。

期 日	受付時間	会 場	マイクロバス運行時間
8月29日(火)	午後1:00~1:30	池谷小学校	橋本発1:00 大久保発1:15 畔上直吉さん宅前 神社前
8月30日(水)	"	虫 亀 集 落 七 ン タ	
8月31日(木)	午前9:00~9:30	農 産 物 場 処 理 加 工	
	午後1:00~1:30		
9月1日(金)	午後1:00~1:30	東竹沢小学校	梶金発12:45 小松倉発1:00 木籠発1:15 仲間商店前 松崎方太郎さん前 松井治二さん前
9月5日(火)	"	村 民 会 館	油夫発1:00 関-弘さん前 → 山中 → 間内平 → 村民会館



まず検診! がん検診日程

がん検診が、次の日程で行われます。「まず検診/油断するな、がんから家庭を守りましょう。」

月 日	会 場	受付時間
8月4日(金)	虫 亀 集 落 七 ン タ	8:30~9:30
8月7日(月)	山 農 古 協 七 ン 本	8:30~9:30
8月8日(火)	"	8:30~9:30
8月9日(水)	池谷資料館	8:30~9:30
8月10日(木)	東竹沢小学校	8:30~9:30
8月11日(金)	村 民 会 館	8:30~9:30

受診対象者 40才以上 500円

月 日	会 場	時 間
8月25日(金)	山 古 志 村 農 協 本 所	9:00~10:00
9月6日(水)	虫 亀 集 落 七 ン タ	9:00~10:00
9月11日(月)	村 民 会 館	9:00~10:00

受診者には乳がん自己検診法を指導します

30才以上の女性 400円

上手なお世話に ちよつぴり自信が...

23人が参加 痴呆性老人上手なお世話講座

山古志村の六五歳以上の人口割合は二〇%を超え、高齢化は着実に進んでいます。それにつれ、ねたきり老人や痴呆性老人の増加が問題になってきています。

特に痴呆については、人数の問題だけでなく痴呆が治りにくく長期間の看護を必要とすることや痴呆の示す様々な症状や問題行動によって、家族が肉体的にも精神的にも大きな負担を抱えています。

そこで、老人や痴呆について知識、日常生活の援助技術を普及し、在宅痴呆性老人の看護の充実とその家族を支援する人材を育成し、地域ぐるみの看護力の拡大をめざして、長岡保健所と共催で四回一コースの講座が開かれました。

全村を対象に呼びかけたところ一三人の参加者があり、その動機は、ボランティア活動を希望する人、自分がホケないためにという人、現在老人を介護している人、老人を抱えている人などでした。講座の内容は、以下のとおりでした。

▼第一回(七月一〇日)
グループに分かれ、痴呆につ

は、ホケる前のその人の人格、生き方が大きく影響するそうです。

▼第二回(七月一七日)
まず保健婦から村の現状について話があり、そのあとビデオを見ながら「痴呆老人の看護のポイント」について話し合いが行われました。この中で、「病人と介護者の信頼関係が一番のカギ、それにはホケていても一人の間人であること、そして男(姑)であり父(母)であり人生の先輩であることを忘れないこと。また、だめを言っているかわかっていますか、決して否定しない、これにより通い合うものがある。子供や孫はもちろん、近所の人から声をかけられると機嫌がよい」というような



▲ 実技講習を受けているみなさん

ことが話し合われました。

午後からは、次回の田宮病院での実習に備え、食事介助と顔や手の清拭の実習をし、介助される側の気持ちを体験しました。

▼第三回(七月一九・二〇日)
二班に分かれて田宮病院での実習。一人が一人の患者さんを受け持ったり食事の介助を行いました。病棟に入る前は、「うまく接することができるか」、「患者さんに嫌われるのではないか」と不安まじりであったのが、実習が終ってみると「せっかく患者さんがわかりかけてきたのに、もっといっしょにいたい、というほどあつという間に二時間が過ぎたようです。中には、患者さんと涙でお別れをした人もいたようです。

▼第四回(七月二五日)
三古社会福祉事務所の岩井主任から「痴呆性老人に関する社会福祉制度」について講義を受けたあと、グループに分かれ、四回の講座で何を学んだかを今後どういかしていきたいかを話し合いました。

みなさんやはり、病院実習が強く心に残り、その経験から「ズブの素人じゃないんだ」と自信を抱かれたようです。そして、「病人にとってはやはり、家庭で育てるのが一番幸せだと思ふ。しかしそれは家族にとっては大変な重荷

- この講座に参加された人は、次のとおりです。(敬称略)
- 種彦原 小川トキ子 小川広子
- 小川ヤス 樺沢セツ 米岡民代
- 金内キクノ 長谷川フミ 小川由美 坂牧ユキ
- 虫 亀 長島ユキ
- 南平 五十嵐栄子 畔上澄江
- 竹沢 星野信子 関幸子 青木恵子 関ミツ 高野敏恵 小池孝
- 東竹沢 松井キミ 関喜美枝
- 五十嵐ミネ 関ヒサ
- 小千谷地域消防署 小宮泉

熱唱・熱演に 観衆400人 芸能発表会



田中和枝さん(虫亀)



五十嵐悦子さん(虫亀)



あやめ会(虫亀)



梨美会(種芋原)



小川トキ子さん(種芋原)
笹美会(竹沢)



椿会(大久保)



高野美和子さん(竹沢)
五十嵐初子さん(虫亀)



入場整理券をお求めください
・期日 九月一日(日)
午前十一時開演
・会場 村民会館大ホール

木箆出身の橋本秀泉(ヤス子)さんが会主の「民謡いずみ会」が主催する民謡ショーが開かれます。協力は山古志村民館と山古志村芸能協会です。

この催しは、「橋本秀泉、故郷へ贈る民謡ショー」と題して開かれ、主催は前記のとおりですが、特別出演として同じく小松倉出身の松崎忠夫(尺八) 松崎友理子(唄)さん親子と北條なおき(津軽三味線)さんも出演します。さらに、星翠会会主・星屋声翠さんと北條会社中のみなさんも応援出演

演じます。
この民謡ショーに入場ご希望の方は、あらかじめ入場整理券(先着順三〇〇人)をお求めください。「入場は無料で、整理券と引き換えにお弁当と粗品が進まされます。」
▲入場整理券申し込み先

橋本秀泉が故郷へ贈る 民謡ショー

粗品等の都合がありますので、必ず当日来場可能な数だけお求めください。
※この民謡ショーは、橋本秀泉さんのご厚意で実現したもので、村では会場等の提供をするだけです。

御案内

謹啓 暑中お見舞い申し上げます。併せて皆様益々御清栄のこととお慶び申し上げます。
さて、私達民謡いずみ会は、会主橋本秀泉(ヤス子)を核として、民謡芸能に傾注し、勉強・稽古を重ねておる会で御座います。この度、私の生まれ故郷山古志村

におきまして、かねてからの念願が叶い民謡ショーを開催できますことを、私はじめ会員一同心から御礼申し上げます。
この民謡ショーは、私が故郷を離れ早三〇年有余、故郷を偲び民謡を習い始めてからも二〇年を迎えました。この間、民謡いずみ会は健全な会として成長し、弟子にも慕われ稽古を重ねておりますことから、「故郷の皆様には是非民謡をご披露し、楽しい一時を過ごしていただきたい」と感謝の念を込めて計画したものでございます。御多忙中とは存じますが、皆様お誘い合わせのうえお気軽に御来場くださいますよう、お待ちしております。

平成元年七月吉日
民謡いずみ会会主 橋本秀泉

サマーコンサートで ナマ演奏の感動を!

今年で三回目となる「やまこしサマーコンサート」が、八月一日(木)に開かれます。会場は村民会館大ホール、開演は夜七時。この催しは、村内の各学校に赴任しておられる先生が組織する村研音楽部サマーコンサート実行委員会(代表、手島恵美子・荻野楨

子)が主催します。テレビやステレオからは得られない「演奏者と聴衆との一体感がつくる感動」をみなさまに……ということから計画されました。コンサート終了後、簡単な茶話会も開かれます。お気軽にお誘い合わせて、多数ご来場ください。

一ミリの雨量ってどのくらい?

天気予報を聞いたりしているとよく「雨量」という言葉を耳にします。雨量とは、文字通り地上に降った雨の量のことです。測定の仕方、直径二〇センチの円筒を地上に置き、その中にたまった雨水の深さを、ミリメートル単位で量ります。
一ミリの雨量というとき、感

見附まつりで「闘牛太鼓」



見附まつりで「闘牛太鼓」が披露されました。七月二六日に見附まつりの一環として、見附中央公民館で開かれた「太鼓演奏大会」に鼓童会が招待され、県内各チームと競演を行ったものです。
この大会は、「両津鬼太鼓」、「新潟万代太鼓」、「六日町御実城太鼓」等県内の有名太鼓一〇チームが招待されました。
※鼓童会では、会員を募集しています。希望者は、会長の広井利信さんへご連絡ください。



三古郡老連 スポーツ広場で開催 ゲートボール大会



種芋原チーム

健康増進と親睦が第一

三古郡老人クラブ連合会が主催する、「第16回三古郡老連ゲートボール大会」が、種芋原のスポーツ広場で行われました。この大会は、毎年三古郡七町村を回りながら開かれていくもので、今年は下度山古志村の当番となったものです。予定の七月一三日は、グラウンドコンディションが悪く翌一四日に大会が開けられましたが、数日前から村内老人クラブの人たちには、グラウンドの草とり等会場整備にご奉仕をいただきました。当日、心配された天候は曇。雲は薄く、雨の心配はありません。開会の午前一〇時には、各町村からマイクロバスで選手と応援団が次々に来村、一〇時から開会式が行われました。この大会の目的は、「三古郡老

連会員の健康増進と相互の親睦を図るため」となっており、米資の三古社会福祉事務所長さんも祝辞の中で「真剣になりすぎて、親睦を忘れることのないように」と、話しておられました。助役の「ようこそ山古志村へ」との祝辞もあり、最後に選手代表の高野安菜さんが、力強く選手宣誓を行い、開会式を締めくくりました。参加チームは、各町村と寺泊老人ホームがそれぞれ二チームづつ、一六チームで熱戦が繰り広げられました。山古志村からは、竹沢五幸チームと種芋原チームが代表で出場し善戦をいたしました。優勝は越路町福寿会チーム。真剣な中にもなやかに大会が無事終了いたしました。

母と子の料理教室

八月二日(火)に村民会館で「母と子の料理教室」が開かれます。時間は午前九時三〇分から午後二時。昼食は自分たちで作ったものを食べていただきます。対象は小学校五・六年生と、そのお母さんまたはおばあちゃんです。お気軽にお申し込みください。お申し込みは、住民課保健衛生係へどうぞ。(定員二〇組)

ガスには安全器具を

村内の大半のご家庭では、プロパンガスが使われています。このガスによる事故が全国では、年間約四〇〇〜五〇〇件発生しており、その約七割がガスを使う人の不注意が原因で起きています。ガス漏れ事故を防止するために「ガス漏れ警報器」が法律で義務づけられていて、どこのご家庭にも設置されています。しかし、ガス漏れを感じたら元栓でガスを遮断するという装置を設置すれば、安全性はより確かなものになります。この安全装置には、「ガス漏れ警報遮断装置」(ガス漏れをすばやくキャッチして、自動的にガスを止める)や「マイコンガスメーター」(風呂の消し忘れや湯沸器の出しっぱなしなど、普通では考えられないような場合、マイコンが判断してガスを止める)などがあります。



テレホンカードができました

(株) ゆきぐに企画が、山古志村の宣伝用にと、テレホンカードを作りました。種類は、錦鯉と開牛それに古志の火まつりの写真入りもの三種があり、この三点をセットで販売しています。度数は各種とも五〇度数で、価格は三点セットで二、五〇〇円です。お求めは、村内の各商店でどうぞ。

私のふるさと創生論(一)

切実に感じられる高齢化社会の現実

広報やまこし七月号で、みなさまからご協力いただいたふるさと創生アンケートの概略をお知らせしましたが、今回はみなさま方それぞれのおふるさと創生論をご紹介します。(敬称略)

山古志村には、豊かな自然や開牛・錦鯉など、長い歴史の中で育まれて来た、伝統的な行事や産業がある。しかし、科学技術の急速な進展や高度情報化社会の到来による生活様式の変化に伴い、過疎化の波に洗われている。人々は、心の潤いとやすらぎを求めながらも、便利な生活にあこ

老人世帯が年々増加している。一人暮らしの老人世帯もたくさんある。今後も増えつつあるだろう。豪雪地域でもあり、このまま放置することは大きな心配がある。山古志村にも総合老人福祉施設は絶対に必要と考えられる。若者の流出が増える中、老いた親たちは必ずしも故郷を離れ子供の手へ行かざるを得ない。この故郷に入所できる施設があれば、きっと喜んで入所するものと思われる。近郷からも集まってくるだろう。都会に出た老人た

匿名

ミニ老人ホームの建設を希望します。近年、国民の高齢化が進み、最も重要な問題になっていきました。山古志村の現状も、ご多聞にもれず高齢化が進んでいます。しかも、若年層の転出により、老人だけの世帯が多くなっています。老いてホームへの入所を希望し

虫電・五十嵐久代

種芋原・匿名

ふるさと創生の一億円は、宅地開発集落再編成のための基金にすべきと思います。山古志村は人口構成の高齢化によって、今後一〇年〜二〇年の間に大幅な人口減少、人口減となることは確実で、小さな部落は存続自体が難しい事態になると考えられます。加えて若者の周辺都市への通勤者は、圧倒的に多数を占めるようになり、村内に生活基盤を置く者の比率は激減しているはずで、そうした中で産業振興などを行っても、効果は少ないはずで、山古志村が持っている最も有力な商品は「安い土地」ではないです。

生まれ育ったこの土地で、一生を送りたいと願っています。もしできることなら、老人が雪の心配をしないで暮らせる施設ができたなら、日本一の住みよい村になるのでは。

種芋原・坂牧竹治郎

現在施設の不足等により、簡単には入所できません。そして、生まれ故郷を離れ遠地の施設への入所は、老人心理として抵抗感が大きいと思われる。このため、村内にミニ老人ホームがあり、気軽に入所できれば、老後も安心して生活できるのではないのでしょうか。

しょうか。なのに、今新築をしようとする人で国・県道沿いの適地に土地を購入できる人が、どれだけいるのでしょうか。もし役場周辺とか、計画的に開発された団地等が安く分譲できれば、村内だけでなく村外からの応募もあるかもしれません。今の若者は、都市よりも良い生活環境を作つてやらねば、定着はしないと思います。

まず、基金の運用益で毎年土地を購入し、補助金等によって開発する。売却益は、さらに基金に組み入れる。マンションのような集合住宅もよいかもしれません。いずれにしてもこの一億円は、四〇歳以下の若者に預けてみてはどうでしょうか。若者、特に都市へ通勤している若者が、何を一番欲しているか、時間をかけてゆっくり議論し、いかにしたら都市よりも住みやすい村を作ることができ

①老人の家の建設

これからは二人暮らしの老人家庭が多くなり、どちらか一人だければ老人ホームか子供の所に行くことになり、ここに老人の家ができれば、付近からも老人たちが集つてくると考えられます。また、親が故郷に居れば、子供たちも尋ねてくるでしょうし、村の活気も衰えることはなくなると思

るか、新しい角度から考え直すきっかけにすべきではないでしょうか。村の人口は、今後確実に減少するでしょう。しかし、人口や戸数の減少は必ずしも悪いことではないと思つては、ただその人口が、今のように散在しては、どうにもならないでしょう。集落の再編と将来の方向付けを明確にするための、好機と考えられます。

大久保・川上巖

古志高原スキー場に名称決定

三月から四月にかけて村民のみなさまに公募をお願いした、竹沢・焼山に造成中のスキー場の名称が決定しました。名称は「古志高原スキー場」です。

応募いただいた数は、二三四人。一四八名。内訳は小・中学生六七名、村民四八名、村外の人三三名でした。決定方法は、全応募名称の中から教育委員会事務局が一〇点を推薦し、この中から「スキー場運営委員会」(会長村長)が、「古志高原スキー場」と決定したものです。これに近い名称で応募くださった人は、東竹沢小学校の松井智美さん(木籬治二さん方)ほか二人で、この人々には粗品を進呈いたします。

錦鯉の当歳 田上り品評会

多数の出品を
お待ちしております

漁協青年部(星野由太郎会長)の事業として昨年から始められた錦鯉当歳田上り品評会が、今年も行われます。今年も稚魚の病気が多発し、新聞等でも取り上げられていますが、みなさん今年の当歳の際は………。昨年の出品は、出品者五〇人、点数三二二点でしたが、今年はその以上の出品を期待しています。青年部では、一般の参加も大歓迎しています。村内錦鯉生産者は、多数出品くださ

- ・期日 八月二〇日(日)
- ・会場 山古志村役場前
- ・出品資格 村内錦鯉生産者
- ・出品規格 当歳、品種大きさは問わず。ただし一人五尾以上
- ・受付・搬出 受付午後一時三〇分から、搬出は午後四時の予定
- ・出品料等 無料、ただし自分の出品鯉を入れる桶を持参のこと
- ・審査の品種区分 紅白、三色、昭和写り物、光り物、金銀鱗
- ・変り物の六品種



鯉師の将来像は

錦鯉も流通の改善が必要なのは……

七月は、錦鯉魚選別の真つ盛り。七月一七日虫亀の山忠養鯉場・田中忠雄さんを訪ね、奥さんの春子さんと仲良く並んで選別している所に割り込んで話を聞きました。田中さんは、村内の錦鯉業界でも

建設的意見を持つ論客として有名で、漁協青年部では企画を担当しています。錦鯉を本格的に飼い始めたのは高校(長岡農高山古志分校)卒業と同時に。子供のころから父親の忠志さんが錦鯉を飼っているのを見て育ったのと、当時は錦鯉の絶頂期だったため、迷うことなくこの道を選んだとのこと。そのころ養殖面積は五〇a程度だったのが、現在は一・五haと二倍増。品種は、三色・紅白・五色が主体で、この五色は父忠志さんが作った親鯉をもとに、当時から良い子を産出していったのをさらに改良しながら、現在まで続いているという血統書つき親鯉です。現在は経営者となった田中さんも、錦鯉のイロハから習ったのは忠志さんから。今でもその豊富な経験は、貴重なアドバースとして尊重しています。

田中さんが今一番考えていることは、「どうより考え続けてきたことは」、錦鯉の流通改革。昔から錦鯉は殿様商売と言われてきた。確かに一時、お客の方が頭を下げて売買が行われるという奇妙な時代もあった。今でもこの名残がある。しかし、時代は変わったと考える田中さんは、数年前に気の合う仲間たちと「友鯉会」というものを作った。これは、業者と生産者の集まりで、お互いの信頼関係

池のガス抜きをする、田中忠志さん。鉄棒(おもり)に杉の葉をつけた器具に繩をつけ、池の中を引き回す。こうすることにより、杉の葉が池の底の泥をかきはんしがスガ抜ける。「もう何十年も前からやっている」と、田中さんは話しておられます。



のうえに成り立っていて、それぞれの立場からの情報を持ち寄り、それをもとに研究する会として位置づけている。「これからは、業者との提携が必要」と田中さん。「あてずっぽうに生産するのではなく、業者の要望に沿って品種、規格、生産量を決めれば、販売が楽になり経営の安定度も高くなる。業者から見れば一生産者の生産量など些少なものの」、「あらゆる商品は流通ルートが確立している。しかし、錦鯉だけは特殊な経路でバラバラに流通している。商品としての特殊性もあるが、改善の余地はある。



「これからは、業者との提携が必要」と田中さん。「あてずっぽうに生産するのではなく、業者の要望に沿って品種、規格、生産量を決めれば、販売が楽になり経営の安定度も高くなる。業者から見れば一生産者の生産量など些少なものの」、「あらゆる商品は流通ルートが確立している。しかし、錦鯉だけは特殊な経路でバラバラに流通している。商品としての特殊性もあるが、改善の余地はある。」

次ページへ



主催 漁協青年部
選別をする高野孝之さん(桂谷)

田中さんは錦鯉業界について、常に前向きに考え続けてきました。「現在の六〇歳代の人たちは、自分たちで錦鯉をここまで育てたという自負がある。だから、業界の改革などといっても簡単にできないのはよくわかる。しかし、改革なくして前進はない」、この考えを忘れずにいたい。我々を育ててくれた先輩諸氏をさしおいてこういうことを言えば、生意気と思われれるのは承知しているが、先輩諸氏への敬意は忘れていませんから、若さゆえ、とご容赦ください」とのことです。

戦没者等の遺族に特別弔遺金

戦没者等の遺族に対する特別弔慰金支給法が改正され、昭和六〇年四月一日から平成元年三月三十一日までに公務扶助料、遺族年金等を受給していた遺族(妻、父母等)が死亡などにより失権していた場合に、残された遺族に特別弔慰金として、額面一八万円、六年償還の国債が支給されます。なお、第四回特別弔慰金(額面三〇万円、一〇年償還)の支給の対象となった遺族は対象となりません。

この特別弔慰金を受けるには、平成四年六月二十七日までに、請求書を住民課へ提出しなければなりません。詳しくは、住民課へおたずねください。

長岡保健所が

テレホンダイヤルサービスを開始

長岡保健所では、新たな行政サービスとして、電話によるダイヤルサービスを始めました。これは保健所閉庁後の夜間電話を利用して、保健衛生に関する各種情報を提供し、日常生活に役立ててもらうことを目的としたものです。時

曜日	8月
月	長岡保健所管内の名水
火	お弁当には気をつけて
水	あなたを狙う覚せい剤
木	赤ちゃんのあせも
金・土・日	夏バテ予防の食事

テレホンナンバー
34-4149

交通安全講習会

■期日 八月二四日(木)
夜七時三〇分から
■会場 村民会館ホール
■主催 山古志村交通安全協議会
※多数ご参加ください。

ザツ・チャレンジ ナイトウォーク パート4

毎年八月に行われているナイトウォーク。今年も「サバイバル・ナイトウォーク・パート4」と題し、八月二日(土)から三日(日)にかけて行われます。コースは、長岡悠久山球場から村民会館の間片道で、距離は二〇kmです。

・集合時間は、村民会館午後八時です。その後、長岡へはバスで送ります。悠久山球場出発は午後二〇時です。
・参加対象者は、小・中・高生と一般。ただし、小学生は父兄同伴、中学生は五人以上のグループで参加してください。
・参加費は、五〇〇円です。お申し込みは、八月九日までに教育委員会へどうぞ。
(☎五九一三三三三)

平成元年度成人式

・期日 8月14日(月)午前9時から
・会場 村民会館(式典、懇親会) 蒼柴神社参拝
・該当者 昭和43年4月2日から44年4月1日までに生まれた人で、今年52人。

星野仲次郎さん 二級審判員に

星野仲次郎さんが、「日本ゲートボール連合」二級審判員に認定されました。山古志村に三級審判員に認定された人は一〇人位おられますが、二級審判員に認定されたのは、今回の星野さんが初めてです。

老齢福祉年金受給者は緑の年金証書の提出を

老齢福祉年金は、国民年金証書により年金が支払われています。年金額は、毎年八月に本人や扶養義務者の所得などを審査し、向う一年間の年金支給額が決定されます。そこで、八月期分の年金を受け取られたら、その年金証書をすぐ住民課に提出してください。年金証書の提出が遅れますと、十一月期分の年金をお支払いすることができなくなりますので、ご注意ください。

